

会 議 録

1 会議名

令和4年度 第1回金谷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 金谷地区公民館の移転について（諮問）（公開）

3 報告（公開・非公開の別）

(1) 令和3年度地域活動支援事業の完了について（公開）

(2) 儀明川ダムの進捗状況について（公開）

4 地域の方との意見交換

5 開催日時

令和4年4月27日（水）午後6時00分から午後8時00分まで

6 開催場所

向橋町内会館

7 傍聴人の数

4人

8 非公開の理由

—

9 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・（地域住民）：7人

・委 員：村田敏昭（会長）、川住健作（副会長）、山井広子（副会長）

石川美恵子、大瀧幸治、加藤國治、神崎 淑、小林雅史、高橋敏光

高橋 誠、高宮宏一、平良木美佐江、益田侑季

（欠席：3人）

・市役所：社会教育課：宮崎参事、岩崎副課長

河川海岸砂防課：中村課長、小林副課長

・事務局：南部まちづくりセンター 滝澤センター長、小池係長、難波主任

10 発言の内容

【難波主任】

・13人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定

により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

- ・同条例第8条第1項の規定により、議長は村田会長が務めることを報告

【村田会長】

本日は向橋町内会に金谷区地域協議会が「出張協議会」と銘打ってお邪魔している。

本日おいでいただいている向橋・灰塚・中田原町内の地域役員の皆様に関会に先だって御礼申し上げたい。出張協議会については、令和元年に行って以来、近年はコロナ禍の影響により、開会を見合わせていた。今回は3年ぶりの開催となる。

地域のために、地元第一主義をもって、16人の委員1人1人が務めているところである。

- ・会議の開会を宣言
- ・会議録の確認：大瀧委員、石川委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【滝澤センター長】

- ・資料により説明

【村田会長】

事務局の説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし。

— 次第3議題（1）金谷地区公民館の移転について（諮問） —

【村田会長】

次第3議題（1）金谷地区公民館の移転について（諮問）に入る。

事務局より説明を求める。

【滝澤センター長】

本日は4月15日付で市長より「金谷地区公民館の移転について」諮問されたことから、諮問について審議いただきたい。

諮問とは、市長が政策判断の参考とするため、区域の住民の生活に及ぼす影響の観点から意見を求めるものである。

市民の生活にどのような影響があるかとの観点で議論願う。

【村田会長】

社会教育課より説明を求める。

【社会教育課 宮崎参事】

・ 事前配布資料No.1 により説明

【村田会長】

今ほどの説明に限定した質疑を求めるがなし。

次に、金谷地区公民館の移転について、各委員より意見を求め、諮問の採決へと結び付けたいと考えている。

石川委員より順に意見を求める。

【石川委員】

ヨーデル金谷の南側に新たな地区公民館を持つてくるということは、とてもよいことだと思う。

面積も広いようであるため、この件に関して言うことは特にない。

この場で発言しても意味がないようにも思うが、気になることがある。

ユニバーサルデザインはよいが、平屋建てとある。雪国で平屋建てというと、建物も大きいため、昨年のような大雪が降ると大変なことになると思う。

2階建てにするというわけにはいかないのか。それが1番気になっている。

ユニバーサルデザインだからといって、2階があってはいけないということではないと思う。

今後、様々な災害も考えられるため、せっかくこの機会に作るのであれば避難所的な要素も考えていただきたいと思っている。

これだけの広さがあるため、ぜひ除雪体制や避難所的なことを考えて、2階建てを検討してほしいと思う。

【大瀧委員】

公民館の移転については、長年、やすねの裏にあったため、「金谷地区公民館」とはいつでも、よその建物のような感じがしていた。早く金谷地区に公民館を作ってほしいと思っていたところに、今回、こういった発想が出てきた。よい悪いは別として、結構な仕事として進んでいると思っている。

【加藤委員】

場所的に大賛成であり、安堵している。

ただ雪国であるため、平屋建てとなると、除雪の問題が一番重視されるのではないかと思う。

できることであれば、少しでも床等を上げて、高床の方法で雪が落ちるようなかたち等、設計に考慮していただきたいと思っている。

【神崎委員】

特に意見はない。

【小林委員】

まず移転については、まったく否定するものではないため、円滑に進めていただきたいと思っている。

「金谷区の住民の生活に及ぼす影響」というと、多少、ネガティブなイメージかもしれないが、新たに公民館を作ることによってポジティブな方向の影響もぜひ与えていただきたいと思っている。

近くにあるヨーデル金谷との相乗効果や、BMX場・金谷山等も含めた将来的なビジョンも描いていただきたいと思っている。

また近隣では、関根学園や高田西小学校が避難所に指定されている。

以前に聞いた話で、女性や小さな子ども等、避難所弱者といわれる立場の住民も多くいる。大々的な避難所ではなくても、そういった視点で公民館であるからこそできるような、避難所弱者に対してのアプローチも設計をする上で提案をして、よい影響を与えていただきたいと思っている。

【高橋敏光委員】

長年、要望を出して、ようやく「我が屋敷に家が建つ」という感じであり、本当にうれしい限りである。

先ほどより「2階建て」といった話が出ているのだが、これまでの状況でいうと2階建ての施設が多いと思うが、この向橋の町内会館も平屋建てである。高齢化の影響や使い勝手を考えたものであると思う。

私は平屋建て・1階建てが妥当かと思っており、利便性においても楽だと思う。そして2階・3階建てとなると、エレベーターの話になるが、2階建て程度ではエレベーターもつかない。上がり・下がりも楽であるため、平屋建てが妥当だと思っ

ており、それを私は望んでいる。

ただ移転の予定時期については、できることであれば、今年にいろいろと調査を行って設計に入り、来年度頃より着工して、3年目には使用できるような格好にしてもらうことができるかと1番よいかと思っている。1日も早く、ということが実際の希望である。

今回、このようなかたちで移転が決まったことには、本当によかったと安堵している。

【高橋誠委員】

平屋建てということについては、特に言うことはないが、それに対する雪対策・除雪対策についてである。

例えば、融雪方式を取るのか、除雪方式を取るのか、そういった話をこれから詰めていくと思う。できることであれば、そういったことをその都度、相談してほしいと思っている。

【高宮委員】

今回の件については、大変にご尽力いただき感謝する。

これまでの意見にもあったように、移転を予定している場所は雪の多いエリアである。市役所の方から上がってきて、だんだんと雪が多くなっていくところである。

そのため、雪対策・除雪対策をきちんとしてほしいと思っている。

次に、これだけの面積があるため、災害はあってはならないことだが、避難所としてスムーズに活用できるような施設として考えることが大事だと思う。

これまで金谷区にはこういった施設がなかったが、金谷区の中心部に移転することになれば、近郊の住民が何かあった際に集まってくる場所になるかと思うため、そういったことを考えて進めてほしいと思っている。

次に、今日も皆、車で来ていると思うのだが、会館までの間に信号機が二つある。その2か所の間は少し距離がある。

特に会館を利用した際、直江津方面に出る際にはスムーズに出ることができると思うが、逆に新井方面に出る際には山麓線の交通量がだんだんと増えてきていることもあって、困難だと思う。新たな会館に入るところに信号機の設置等も検討してほしい。

意見・その他等についても、もう少し細かく地域協議会に説明いただく、また、地域協議会からの意見も聞いていただけるよう、ぜひお願いしたいと思っている。

【平良木委員】

他の委員の発言にもあったように、地区公民館を新築・移転すると、交通の便も大変よく、建物や駐車場も広く取るということで大変に利用しやすくなるため、金谷区民がこれまで以上に様々な活動をする事ができて、いろいろな活動が活発になるのではないかと期待できると思う。

先ほどの説明では、今後の移転の話を進めるにあたって、利用者や地域代表との懇談の場を持ち、意見を生かしていただけるということであるため、せっかく作っていただくのであれば、より使いやすくなるよう、地域住民の意見を生かしていただくことができれば、ありがたいと思う。

【益田委員】

新しい公民館ができることは、とても楽しみであり、どのようなかたちになるのかと、とてもわくわくしている。

大人が使用することが中心になるかと思っているが、周辺には高校もあり、また子どもたちもたくさんいる。そのため、大人も子どもも使いやすいような公民館になるとよいと思っている。

【山井副会長】

他の委員が発言した内容でよいと思う。

ただ、参考資料No.1に「当該施設の利用者は多い」とあり、現在、寺町にある公民館の利用者は結構多いと思う。

利用者に聞いたところ、あの場所であり、自転車や歩いて来ることができるため、「便利でよい」と話していた。

そのため、移転予定地だと、これまで利用していた人たちは自転車や歩きで来ることができないと思う。また信号を渡るため、心配だとも話していた。

それと、現在の公民館は老朽化しており危ないが、新しい公民館が令和7年からでなければ利用することができない。そのため、設計等、いろいろなことについて地域住民の意見をぜひ取り入れていただき、よりよい設計とすることは一番だと思うが、現施設が老朽化していることも考慮して、何とかもう少し早めに利用できる

ように進めてほしいと思っている。

令和7年だと、あと3年ある。もう少し早めに計画を進めてほしいと思う。

金谷地区は広い。すでに移転予定地が決まっており、予定地には車で利用することになると思うが、それらのことが多少、心配である。

【川住副会長】

まず、私は金谷山の麓に移転が決定したということに安堵している。

これまでは金谷南部より、やすねの近くにある現在の公民館は、「遠い」イメージを持っていた。

最終的に移転先の候補が二つになった際、大貫の浄興寺の側との話があった。地域的に見て、新しい移転予定地が金谷地区のちょうど真ん中、中心にあたるため、個人的には最適地だと最初から思っていた。

やはり金谷区は、金谷山が「心のふるさと」というか、歴史的に見ても、金谷山を中心としたエリアではないかという気がする。

人口的に見ると、中部と北部のほうが多く、約3倍ある。南部である黒田小学校区は、まだ1,000世帯に満たず、人口的に見ると確かに少ない。だが、先々のことを考えると、その差もだんだんと縮まっていくような感じをもっている。

将来を見透かして、金谷山の地が最もよい選択であったと思う。

また先ほどより意見の出ている、建物の構造や雪対策等についてはいろいろと考えられるのだが、それについては市でしっかりと設計していただけていると思う。今後、検討をしながら一緒に進めていくことができればよいと感じている。

【村田会長】

各委員よりいただいた意見を踏まえ、採決に移るがよいか確認し、承諾を得る。地域住民の生活に「支障なし」だと思う委員は挙手願う。

(11人挙手)

採決の結果、「支障なし」と決定した。

これまでに様々な意見が出ていたが、それらを附帯意見とすることも可能である。よって、これまでに出了意見を集約し、金谷区地域協議会としての附帯意見として提出したいと考えている。

出了意見を集約し、附帯意見として付けることとしてよいかを諮り、承諾を得る。

附帯意見の整理については、事務局と正副会長で文言を整理することに一任いただけるかを諮り、承諾を得る。

私から、附帯意見に付けたい文言が一言だけある。

この諮問についてのことではないのだが、諮問に至るまでの経緯、地域協議会への手続きをきちんと尊重して進めてほしいということ、附帯意見の最後に付けたいと考えている。

この内容を附帯意見として付けてよいかを諮り、承諾を得る。

以上で次第3議題（1）金谷地区公民館の移転について（諮問）を終了する。

—社会教育課退席—

— 次第4報告（1）令和3年度地域活動支援事業の完了について —

【村田会長】

次に次第4報告（1）令和3年度地域活動支援事業の完了について に入る。

事務局に説明を求める。

【滝澤センター長】

・当日配布資料No.1により説明

【村田会長】

事務局の説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし。

昨年度の採択事業についての内訳が配布資料に記載されている。

資料を確認し、気づいた点等があった際は、事務局に確認してほしい。

以上で次第4報告（1）令和3年度地域活動支援事業の完了について を終了する。

— 次第4報告（2）儀明川ダムの進捗状況について —

【村田会長】

次第4報告（2）儀明川ダムの進捗状況について に入る。

市の河川海岸砂防課より説明を求める。

【河川海岸砂防課 中村課長】

- ・当日配布資料No.2により説明

【村田会長】

今ほどの説明に質疑を求める。

【川住副会長】

私から補足で、ダムを図を掲示しながら説明したいと思う。

— 図を掲示 —

これが儀明川ダムの完成予想図であり、このようなダムができる。

河川海岸砂防課の説明にもあったように、長さは191メートル、高さが36.8メートルであり、正善寺ダムより10メートルほど低い。

次に貯水量については、正善寺ダムの半分くらいである。

儀明川ダムの特徴としては、近くに発電所があり、その下に沢山川がある。この沢山川からトンネルを掘り、儀明川ダムに水を入れる。そして入れた水がダムを通過して儀明川として合流し、仲町の方へ流れていく構造のダムである。

この儀明川ダムの計画については、随分、昔からあり、正善寺ダムよりも先に作る予定だったものが、どんどん遅れ、新潟県下でもほぼ最後となるようなダムのような気がしている。

上越市内でも、現時点では他の計画はないと思う。

そのため、最後の計画ダムかと思う。

工事の方もかなり進んでおり、海に向かって右岸・左岸というのだが、右岸道路については、上の方の道はほぼ完成している。

これまでに地質調査のための横穴を4本掘り調査をしたが、今年度も地質調査の横穴をさらにもう1本掘る予定とのことである。横穴は60メートルくらいの穴を掘る。そのような計画がある。

ダムは永久構造物である。ダムは地図に載るような、本当に長く使われるものであるため、念には念を入れて地質調査等を行う。儀明川ダムについても、横穴を掘る、ボーリングを行う等、大きな調査を行っている。

工事着手まで間近だが、工事が始まってから完成までに8年から10年程かかる長い工事になる。そのため、地元の人から協力をいただかなければ、できない工事で

ある。

また、いろいろな説明会等で説明あるかと思うため、ご協力をお願いしたいと思っている。

地図を見てもらうことが1番分かりやすいと思い、「こういったものが将来できる」ということで、以上、補足説明である。

【村田会長】

質疑を求めるがなし。

以上で次第4報告（2）儀明川ダムの進捗状況について を終了する。

— 次第5 地域の方との意見交換 —

【村田会長】

次第5 地域の方との意見交換 に入る。

ここからは、本日お越しいただいた地域の方々と意見交換を行いたいと思う。

普段の生活の中で、「地域での困りごと」や「地域協議会委員にこんなことを知っておいてもらいたい」といったこと等、なんでも結構だが、意見をいただければと思う。

最初に、今日お越しの方の中に市議会議員の方がいらっしゃるので発言していただきたいが、いかがか。

【傍聴人】

先ほどからの議論を聞いていて、やはり地域協議会委員は、地域にあるいろいろな市民の声を代表して、様々なことを考えているのだということを実感した。

地域協議会に関しては、実は議会の中でもいろいろな意見があり、「今後、見直しが必要」といった声もある。

だが、本日の議論のように、地域協議会委員が本当に地域住民の声を代表して議論をしている姿を見ると、このまましっかりと議論を続けていくことによって市政の発展が期待できるのではないかとの感を強くした。

市内では、地域協議会は地域の声を代表していないのではないか、28自治区もあるため合わせて簡素にしてはどうか、といった話もある。だが、今の話を聞いて

いると、決してそうではなく、本当に地域の声をしっかりと把握しているのだという思いを強くした。そのため、このままでやっていただきたいと思っている。

要望を言わせてもらうなら、もっと遠慮なく、議論を交わしていただくとよりよくなるようにも思った。

感想めいた話で大変恐縮だが、委員もそういった感覚でやっておられると思うため、是非ともよろしく願いしたい。

【村田会長】

今ほどの言葉をいただき、活発な議論をし、向上するよう、対応して参りたいと考えている。

本日は中田原町内会長、向橋町内会長、灰塚町内会からは副会長よりお越しいただいている。

それぞれの地区の声として、何かあれば発言願う。

【向橋町内会長】

ダムの事業についてである。

実情を申し上げますと、昨年より、環境調査ということで、いろいろと私のところに連絡が入っている。

それまで、付替え、道路関係は地域住民の尽力で始められたのだが、実情でいうと、付替えの道路が荒れ果てている。雑木や草が大変なことになっている。

何年か前に、一般の人が付替え道路に入れないようにフェンスをしていただいでごみが減ったが、それでもまだ捨てる人がいる。不法投棄の場所になっている。

もう少し時間がかかるため、その辺を地元の声として上げていただきたいと願っている。

【河川海岸砂防課 中村課長】

先ほども説明したが、付替え市道については、県から市へ所管を変更するという話を進めている。

所管を変更する際は、例えば剥落がある、木が生えている、といったところは、直してからということになる。

県から市へ所管が変更されると管理の仕方としても、ただの「工事用道路」として使用するだけではなく、公道として位置付けられた道路となるため、少し変わっ

てくると考える。

逆にいうと、市道として一般に開放された道路となると、先ほどの話にもあったように、ごみの問題等には非常に注意しなければならない。

今までも話をいただいていたのだが、本当に奥まった場所であるため、注意をしなければいけないとは思っている。

県といろいろと連携をしながら、状況を注意して監視していきたいと思っている。

【村田会長】

早速、回答をいただいた。地域協議会としても、きちんと要望ができるよう、対応していきたいと思う。

次に、中田原町内会長より発言を求める。

【中田原町内会長】

自分はこのような協議会に参加することは、今回が初めてであり、どういった内容の発言をしてよいのかよく分かっていないが、何でもよいということで発言させてほしい。

自分は小学生の見守り隊を行っているのだが、中田原は、以前、みながわ製菓があったところに新しい団地ができ、そこからも通っている子どもたちがいる。

通学路としては、高田商業高校前の信号のない横断歩道を渡り、その後、山麓線を渡って、高速道路の出口にある信号を渡って小学校に行くルートである。

この間も町内に「見守り隊をしてみませんか」という文書を回覧したのだが、いまだに一件も返事がない。今後、どのようにして見守り隊を維持していけるのか、ということが大きな課題になっている。

現在、4人で活動しているが、高齢の人もおり、私のもとに相談に来る。新しい人を募集してもなかなか集まらないのが現状である。

【村田会長】

高宮委員も見守り隊をされていると思うため、上昭和町のことも含めて、参考になる話をいただきたい。

【高宮委員】

私のところでは、見守りを行うところが二つある。

一つは「防犯協会」、そして交通安全週間の時には上越交通安全協会朝の見守り

というか、登校時の立哨を行っている。

確かに今ほど意見があったように、自分も今回、新しい人を探すにあたっては多少、苦勞をした。

今のところ、私の町内では10人の隊員が一日交代で下校時を中心とした見守りを行っている。

上昭和町と滝寺のところにあり、杉林等の危険場所に立って子どもたちを誘導し、また、交差点関係に立哨して横断歩道等、安全に渡れるように見守っている。

それらの見守り活動には、御殿山町内の方たちからも上昭和町と接点するところまで出ていただき、一緒に活動しているところである。

先ほど「上昭和町町内では一日交代」との話をしたが、御殿山町内では出ることができる人は毎日立ち番として、子どもたちを元気に見守っている。

小学校は1年生から6年生までいるが、特に自分たちが力を入れているのは低学年の子である。通学にあたって、なかなか歩き慣れていないところもあるため、低学年の子を中心として見守りを行っている。

見守りの際、上昭和町の隊員には、大いに子どもたちに声掛けをするよう呼び掛けている。「お帰り」「一日どうだったか」「楽しかったか」「給食は残してないか」といった会話を子どもたちと交わしている。

会話を交わすことにより、子どもたちも心を許してくれ、「オレンジキャップ隊のおじさんだ」といって、いろいろな話を子どもたちの方からしてくれるようになる。

そういったことから、オレンジキャップ隊の方からも、おおいに声をかけてもらうようお願いをして、明るい見守りを行っている。

【山井副会長】

私も昭和町1丁目で見守りボランティアを行っている。

昭和町1丁目は学校まで距離があり遠く、通学に20分ぐらいかかる。

現在、男性3人、女性5人の計8人のボランティアがおり、火曜日から金曜日までの四日間、1人1回、一日だけボランティアに行けばよいということになっている。

女性ボランティアは、50代・60代の家におばあちゃん等、近所の方に声をかけたところ、承諾してもらうことができボランティアが増えた。以前は町内会

長が週3日くらい、見守りを行っていたが、現在はボランティアの人数が増えたため続けることができている。

昭和町1丁目では、小学校まできちんと迎えに行き、それぞれの家や近所まで連れて来るようにしている。

また、昭和町2丁目では、昨年までは高齢な人もいたが、今年からは新しく60代の男性が何人か参加している。

【川住副会長】

黒田小学校区の防犯協会会長を務めている。

見守り活動については、防犯協会の中でも一番大事な仕事として取り組んでいるが、ここ2年ほどは新型コロナウイルス感染症の影響により、総会等を開いていない。学校から「総会は開催できない」と言われ、できていない。

個人的な考えとしては、小学校までかなりの距離がある。そのため、「ここからここまではこの町内」というふうに、ポイントを決めて行っている。私の町内では、高田インターの前まで迎えに行くことになっており、負担があまり大きくならないような取組で行っている。

人が集まらないとの話であるが、やはり自分の孫等がいる人でなければ、なかなか難しいかと思うため、町内会長にお願いするしかない。そのため、小学校に通っている孫がいるような人に直接会って、説得していただきたいと思う。

今年は協会の会費で、帽子と「横断中」と書かれた旗を購入し、見守り活動をしてくれる方に配付した。

そして今年度の地域活動支援事業に、「オレンジベスト70着」の購入を申請した。採択された際には、5年、10年先まで見守り活動が続けられるのではないかと考えている。採択された際には、新しいものを皆に配付したいと思っている。

【村田会長】

各町内の実情を説明いただいた。参考になるとよいと思う。

町内会で役員のみならず手がなかなかないということと同じように、見守りボランティアについても同じことが言えると思う。私たちも地域協議会として、町内会役員、民生委員、見守りボランティアのみならず手がいないということの一つの課題として、議論を交わしていきたいと思っている。

次に灰塚町内会副会長より発言を求める。

【灰塚町内会副会長】

金谷地区振興協議会でこの10年ほど行ってもらっていると思うが、南葉林道のクリーン活動についてである。

今年は非常にゴミが少なく、地域としても助かっている。これを今後も続けていき、ゴミをゼロにしていきたいと思っている。

【村田会長】

高橋敏光委員の発言を求める。

【高橋敏光委員】

毎年、協力をいただき感謝する。

南葉キャンプ場は地域住民の協力のおかげで、4月29日より開業できることとなった。明日28日には安全祈願祭も行う。

今後とも美化活動に協力願う。

【向橋町内住民】

私は上越市内のいろいろな公民館に出かける。

先ほどの金谷地区公民館の移転の話の中で、エレベーターの話が出たが、実際にエレベーターのある公民館はある。それは八千浦である。八千浦の公民館は見事で、2階に幼児たちが遊べる場所があり、下に調理室や研修場、体育館がある。

市の事業でその公民館ができています。

よく話を聞いてみると、それができたのは火力発電所のおかげだという。もう一つ、市の大きな体育館もある。

それだけのことができる市の財政的なものはないかもしれないが、今後、高齢化となっていくのであれば、いろいろな人から来ていただくために、玄関から上がりやすい状態、除雪の話もあったが、普通の家でもエレベーターを付ける家もあるため、そうたいしたことではないと思う。せつかく新しい公民館を作るのであれば、もっと市に地域住民の意見を聞いてもらいたいと思う。

例えば、子どもたちが使いやすい公民館である。八千浦には毎日のように小・中学生が来て、本を読み、勉強をして帰っている。そういった場所があるわけである。

また諏訪区も同様である。諏訪区の公民館にもたくさんの人が集まる。

新道区や頸城区も見事である。どれも素晴らしい建物である。

金谷区でも、もっと市に要望し、せっかく作るのであれば、避難所等にもなるような設計をしてほしい。

地域協議会にお願いしたいことは、もっといろいろな意見を聞いて市に要望し、できれば使いやすい施設にしてほしいと思う。

普段から公民館をよく利用するが、現在の金谷地区の公民館は行くのが大変、車を停めることができない、2階に上がるとギシギシと音になるため体育の運動ができない、1階は畳の部屋という感じである。

移転先の公民館は皆が使いやすいようにしてもらえると、ありがたいと思う。

【村田会長】

今ほど、いただいた意見も先ほどの附帯意見に集約できるよう、取りまとめたいと思う。

「いろいろな多くの意見を聞く」との文言を、附帯意見の中に入れることができるよう、検討したいと思う。

たくさんの意見をいただき、本当に有意義な意見交換会になったと思っている。

地域協議会委員より、地域の方に話しておきたいこと等あれば、発言を求める。

【石川委員】

公民館の誘致については、すごく一生懸命にやってきたということを聞いているのだが、先ほど、高橋敏光委員が「平屋建てでよい」と発言していた。それはどういう意味かと気になっている。

どういう意味なのか、確認したい。

【高橋敏光委員】

「平屋がよい」との発言は、「使い勝手がよい」という意味で発言をした。それだけである。

去年、飯町内会で平屋の町内会館が建てられた。私の町内の町内会館も平屋であり、使い勝手がとてもよい。

公民館の話をする、有田地区に大きなものがあると聞いた。

有田では、金谷区の公民館移転とは逆に、高田のように、大手町にあった旧高田地区公民館が新しいオーレンプラザに間借りして入ったのと同じであると聞いて

いる。

有田も公民館が大きな建物の一角を借りている、というだけの話である。

現在の金谷地区公民館は使い勝手が悪い、利便性に欠けている、ということで、移転先に移動するとした際に、公民館機能の移転だけでは駄目ではないのか、他の要望も一緒に出せば、それらも市は聞いてくれるのではという声もあった。

その方が早いと思い、公民館以外に関する要望も含めて一緒に要望書として出したこともあるのだが、それでは複数の課が関係し、ややこしくなってしまうため、公民館一本に絞ってほしい、と言われ、これまでその方向で話を進めてきたところである。

また、大手町の旧高田地区公民館を利用していた人は本当に不自由になると話していた。

現在の有田地区の大きな公民館が入っている建物には、スポーツセンターもあれば、いろいろなものがある。

あのような施設の一角に、オーレンプラザと同じく公民館が入っただけの話だと思う。多分、公民館そのものを大きくしたという話ではない。

そういったことで、金谷地区の公民館でも、要望書に複数の要素を入れた経緯があるが、このような結果となった。

以上、補足報告である。

【石川委員】

素人の考えではあるが、平屋建てでは雪が大変だと思うのだが、昨年のような大雪の際は、平屋建ての公民館ではどのような支障があったのか、もし知っている委員がいれば教えてほしい。

【高橋敏光委員】

平屋建てで支障があったか否かということか。

【石川委員】

そうである。

【高橋敏光委員】

自分の町内では、降雪量によって、一般の住宅では年に1・2回、雪下ろしをしていると思う。

昨年の大雪は、確か1月8日から降ったと思うが、一週間降り続いて、道が荒れていた期間が19日までの約10日間であったと思う。

私の家の前も降雪の影響により、車で通行することができなくなった。

町内会館の周辺は、20馬力の除雪機で道を開ける等していた。そのため、雪下ろし等もせずに済み、特に困ることはなかった。

公民館を利用する人は決まっているように思う。

体育館等が併設されていると若い人等も利用すると思うのだが、今の公民館のような所では気軽にサークルを行う、コーラス、踊り、ダンス等に利用する人が多いように思う。

そして、現在の寺町にある金谷地区公民館へは、高齢者も皆、自動車で利用している人が多いと思う。歩きや自転車で来る人は少ない。

【村田会長】

いずれにせよ、議論を交わして、使いやすい金谷地区公民館になるよう、繋げていかなければならない。

その役割の一つを、金谷区地域協議会も担わせてもらいたいと思う。

以上で次第5 地域の方との意見交換 を終了する。

— 次第6 その他 —

【村田会長】

次第6 その他 に入る。

まず、令和4年度広報編集委員の確認を行う。

令和3年度については、神崎委員、小林委員、高橋誠委員の3人に広報編集委員をお願いした。

令和4年度については、名簿順に高宮委員、長委員、土屋委員の3人をお願いすることを諮り、了承を得る。

次に、自主的審議事項「金谷区の防災機能強化について」、これまで小林委員を中心として、検討チームを作り、協議を行ってきた。

これまでの検討の進捗状況について、小林委員より簡単に報告を願う。

【小林委員】

検討チームの現状を報告する。

これまでも説明をしたとおり、検討チームとしては「地域住民の意識向上」、また「各町内会・地域住民が抱える課題」を少しでも前進させることができないかと思ひ、今年の8月28日に、大貫4町内で開催される、合同防災訓練に参画させてほしいということで、大貫4町内へお願いにあがって話し合いをし、賛同をいただいた。

その中で一つ決まっていることとして、防災訓練そのものに関しては、それぞれの町内会で避難所に集まるということである。

今回は高田西小学校を集合場所とする予定としている。

そしてその後、集まってから、防災体験会・防災フェアのような催しを行いたいということで話が進んでいる。

その目玉となるようなイベントとして四つの提案をした。

現実可能か否かも含めて、現段階で話が進んでいることとして、一つ目は「起震車体験」である。

二つ目に、確実にできるか否かは現在、調整中だが、「煙の体験」である。

そして三つ目は、段ボールベッド等、「防災備品の組み立て体験会」である。

四つ目は「非常食に関する提案」のようなものである。

以上のような四つの提案をした。

今後の世の中の状況もあるのだが、これらを「防災体験会」の目玉として実施することとなった。

大貫4町内で主体となるのが、今回の当番となっている金谷町内会である。町内会長をリーダーとして、イベントにかかる経費を地域活動支援事業に提案し、地域協議会で審議いただくところまでが現在、決まっている。

繰り返しになるが、8月28日に大貫4町内で開かれる、合同防災訓練・防災体験会に少し参画させていただくところまで、現段階で決まった状態である。

【村田会長】

今ほどの説明にあったように、本日、地域活動支援事業として提案を事務局に提

出したところである。

今後、当然、審査・採択の結果をもって、8月28日へ進んでいくものと承知している。

次に一件、報告事項がある。

去る4月3日に、地域協議会会長と市議会総務常任委員会委員との意見交換会が開催され、私は当日、都合が悪かったため、当協議会からは川住副会長が代理出席をした。

そこで出た意見等について、川住副会長より簡単に報告願う。

【川住副会長】

4月3日、日曜日の午後2時から、春日謙信交流館にて合併前上越市の15区、旧町村13区の合計28区を四つに分けて議論した。

私が入ったのはAグループであった。高田区・新道区・春日区・諏訪区・津有区・三郷区・和田区・金谷区の8区にて協議をした。Aグループの担当委員というか、議長は総務常任委員会の市議会議員2人であった。

議題は大きく分けて三つあった。

一つ目は「地域協議会の課題」である。

これは皆もよくご存知だと思うが、市長の附属機関として、諮問への答申、自主的審議による意見書の提出、地域の諸団体との意思疎通・連携、これらができたか否か。今までいろいろとやってきたが、こういった内容の話はあまりしてこなかったのではないかという気がする。また、答申というか、諮問については、金谷区ではこれまでなかったと思う。

調べてみたところ、今年は先ほどの公民館の諮問があったのだが、その他はゼロである。その前の2年間もゼロだったと思う。

そういったことで、他の区では「諮問が多くて」といった話もあるが、金谷区では諮問事項がなかったため、諮問については発言の機会がなかった。

自主・自立のまちづくりの存在になれたかと言われると、なかなか自信を持って答えられないような状況であった。

二つ目に、「地域活動支援事業の課題」ということで、根本的に予算の編成権と執行権は行政にある。そして審査・決定権は議会にあるということであるため、地域

活動支援事業だけというか、これが地域協議会でこれまで行政に代わる立場で、10年近く審査してきたものである。自分たちとしては、精一杯審査をし、貢献できたのではないかと、思うこともあり、逆に間違っただのではないかと、と後で反省すべき点もあったのかと感じているところもある。

三つ目に、「地域自治区制度の課題」ということで、今後は諮問と自主的審議を通しての意見が中心になると思う。

その他の細かい内容については、資料が配布されていると思う。資料には、非常に分かりやすく、細かい内容が記載されている。私も何回も読んだが、よいことが書いてあると思った。

今後は、地域活動支援事業がなくなるが、それに関しての他区の会長等の意見を聞くと、ほぼ半数以上が廃止に賛成というか、廃止でもやむを得ない、という意見が多いように感じた。

そのため、今後、何か困りごとや自主的審議に繋がるようなことを見つけて、審議していくことができればよいと感じた。

【村田会長】

以上で次第6 その他 を終了する。

— 次第7 事務連絡 —

【村田会長】

次第7 事務連絡について、事務局に説明を求める。

【滝澤センター長】

- ・次回会議：5月25日（水）午後6時から 福祉交流プラザ
- ・内容（案）：令和4年度地域活動支援事業について（提案事業の審査）
- ・当日配布資料：地域自治推進プロジェクト及び地域協議会の取組について
まちづくり市民意見交換会の開催について
ウィズじょうえつからのおたより
上越市男女共同参画推進センター講座（チラシ）
上越市創造行政研究所ニュースレター『創造行政』No.5 1

上越教育大学大学院生によるアンケート調査結果

地域活動支援事業の提案件数にもよるが、件数が多い場合には二日に分けて審査を行いたいと思っている。

その場合、次々回の日程は翌日の5月26日で調整している。

なお、金谷区の地域活動支援事業提案書の提出は明日が締め切りとなっており、現時点では12件の提案がされている。

【村田会長】

本日の議題は全て終了した。

- ・会議の閉会を宣言

1 1 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課
南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

1 2 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。